

平成26年度第6回宇都宮市河内自治会議録

1 日 時 平成26年12月16日(火) 午後1時30分～午後2時30分

2 場 所 河内地域自治センター 第1・2会議室

3 出席者

【委員】 杉原弘修委員(会長), 川上幸子委員(副会長), 加藤幸雄委員, 櫻井基一郎委員, 宗像茂委員, 大谷津健敏委員, 君島京子委員, 多田出芳子委員, 中村房夫委員, 中澤敏美委員, 山田ちい子委員, 我妻勝次委員, 若林知委員, 小森光晴委員, 永井寛委員, 船橋あけみ委員

計16名

【事務局】 河内地域自治センター所長, 地域自治制度担当副参事, 地域経営課長, 産業土木課長, 他4名

計8名

4 会議の公開・非公開 公開

5 傍聴者数 なし

6 会議経過

(1) 開会

・本日の会議の出席者数は16名, 小野章委員, 関口啓子委員, 森由利子委員, 山田祐子委員が欠席。委員数の過半数に達しているので, 会議が成立することを事務局から報告。

(2) 協議事項

①地域のまちづくりに関する施策の提案について

・テーマ「産業・経済, 観光」実現プランの確定

会 長	前回の会議でグループ協議を行った, テーマ「産業・経済, 観光」の実現プランについて, 皆さんの意見を副会長と整理してまとめた。今回は実現プランについて確定していく。事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1を説明。
会 長	実現プランについて, 説明があった。何か意見, 質問はあるか。
委 員	産業・経済の実現プラン「特産物にインパクトのあるネーミングを考案する。」とあるが, 地域の特産物や農業に課題があり, 地域の特産物は何かというのと, 難しい。
会 長	修正意見なのか。抽象的な表現であるとは思う。他に意見はないか。
委 員	私は, 農業の専門家ではないので, これが良いという特産物がわからない。
委 員	私は, この実現プランには, 異論はない。農業については色々な面で悩んでいる。NHKで取り上げられた田原地区では, フクロウにちなんで「フクロウ米」という米を生産し販売している。西下ヶ橋地区では, 鬼怒川の清流にちなんで, 「鬼怒の清流米」を過去に販売したことがある。地域の特産物については, 若い人たちも取り組んでいる。新たな特産物ができるだろうし, 現在進めている, ニラ, なし, ネギ等も何かに関連付けて売り出したほうが良いと思う。別の意味で, 新しい地域特産が生まれてくる。西下ヶ橋地区の名前や写真入りのしおりがある。カレンダーや名刺, 一筆箋を作成してはどうか。地域の方々が意見を出し合い, 新しい特産物ができることは良いことだと思う。
会 長	実現プランの表現はこれで問題ないという意見だが, ネーミングを考えるのが難しい。良いネーミングができて売れるかと言えば, そうでもない。せっかく良い特産物があるのに, ネーミングが悪くて売れない場合もある。インパ

	クトのあるネーミングを考案することが、大切なことになる。他に、意見はあるか。
委員	観光の実現プラン「ウォーキングルートを作成する。」は、ウォーキングルートを作成後、どうするのかを盛り込んだほうが良いと思う。また、実現プラン「隠れた伝統資源を発掘し地域の宝にする。」も、プランとしては良いが、宝にした後、どうするのか。この2点のプランは他のプランの表現と異なると思う。
会長	「ウォーキングルートを作成したものを配布する。」や「活用する。」等にはどうか。具体的な文章は検討させていただく。
委員	了承
会長	実現プランの「地域の宝にする。」の後に「地域の宝にして、大切にする。」ではどうか。
委員	地域のまちづくり協議会で、文化財マップ等は作成中である。そのマップが完成すれば、配布して地域のPRができると思う。文化財、自然環境、伝統文化が網羅されたものが完成すると思う。「付加価値のある農産物を作る」とあるが、どのような農産物が良いのかを考える必要があると思う。
委員	この自治会議としては、この実現プランで良いのか。
委員	まちづくり協議会で実行していることがある。それができあがれば良いと思う。
会長	マップは看板を設置する等で、比較的簡単なプランである。「ウォーキングルートを作成する。」については、ウォーキングルートを作成し、具体的に看板やチラシを作ることに繋がる。この実現プランは、ルートを作成することが、一番になる。このプランで良いと思う。
委員	了承。農業関係で、特産物に特化するということは、これからの課題であり、自治会議だけの議論ではない。河内地区内の企業や地域住民等の方々と特産物について議論をすれば良いと思う。付加価値の高い農産物にしても、議論を踏まえて取り組んでいくという意味で、この提案書に実現プランとしたことは、第一段階である。
会長	実現プラン「ウォーキングルートを作成する。」はこのままの文章とさせていただく。
委員	実現プラン「各種の地域農産物を活用したカレンダーを作成する。」とあるが、委員から意見があったようにカレンダーの他に、しおり等もある。カレンダー等とすれば幅広くグッズを作れるのではないかと思う。
委員	了承
会長	他に、意見はあるか。
委員	実現プラン「ウォーキングルートを作成する。」については、宇都宮市は、自転車のまちなので、それを重ねた形で、ウォーキングルート・サイクリングルートとしてはどうか。
会長	この意見で、どうか。
委員	了承
会長	他に意見はあるか。
委員	なし
会長	それでは、この実現プランで確定をさせていただく。

・提案書（案）

会 長	来年2月に提出する提案書について、昨年度からグループ協議している、地域のまちづくりに関する施策について、前回の協議結果をもとに、提案書（案）を作成した。事務局から説明をお願いする。
事務局	資料2を説明。
会 長	提案書（案）について、事務局より説明があった。何か意見、質問はあるか。
委 員	1頁のはじめにの2行目に「執行状況について意見を述べると共に、自治会議が担う大きな役割であり、河内地域の」の文章で、「自治会議が担う大きな役割である河内地域の目標像。」と区切ってはどうか。文章表現が分かりにくいと思う。
会 長	自治会議が担う大きな役割は、提案なのか、諮問に応じて合併市町村計画の執行状況について意見を述べることなのか、自治会議の役割の主語が、わかりにくい文章になっている。ここは、検討させていただきたい。次回で良いか。
委 員	了承。
会 長	他に意見、質問はあるか。
委 員	1頁の最後の段落に、「この提案書が、まちづくりの主体である」と書いてあるが、主体という言葉が入って良いのか。まちづくり協議会は、それで良いのか。
委 員	私としては、「まちづくりの主体」という文言を削除して、「この提案書が、河内地区まちづくり協議会で進めている「地域ビジョン」策定の一助となり」としたほうが良い。
会 長	「まちづくりの主体である」という文言は、非常にアクセントが強いと思う。例えば、まちづくり協議会が主体的に進めている地域ビジョンというように、副詞的に使うとこともできる。
委 員	「まちづくりの主体であるこの提案書が、河内地区まちづくり協議会が進めている「地域ビジョン」策定の」という表現が、わかりやすいと思う。
会 長	「まちづくりの主体である提案書」という文だと、少し意味が違う。
委 員	先ほどの意見の「まちづくりの主体である」の文言を削除するか、地域ビジョンづくりがまちづくりの主体であることを訴えるのなら、「この提案書が、河内地区まちづくり協議会が進めている、まちづくりの主体である「地域ビジョン」」の文言にしてはどうか。地域ビジョンが、今後どうなるのかわからない。まちづくりの主体という言葉あまり使わないほうが良い。
会 長	「まちづくりの主体である」の文言を削除しても、不自然な文章にならない。この提案書が地域ビジョン作成の一部となることを言いたい。「まちづくりの主体である」という文言を削除する。他に意見はあるか。
委 員	なし。
会 長	1頁のはじめにの最初の段落の内容はそのままにする。文章表現を改めて作成し、最後の段落は、先ほどのように訂正させていただく。また、文言等の修正や微調整については、会長・副会長に一任させていただき、次回の会議で、修正部分を協議し、確定していく。そして、提案書を市に提出する。
委 員	了承

(3) その他

- ・ 次回の開催日程について平成27年2月に開催予定。日程等の詳細は後日連絡

(4) 閉会